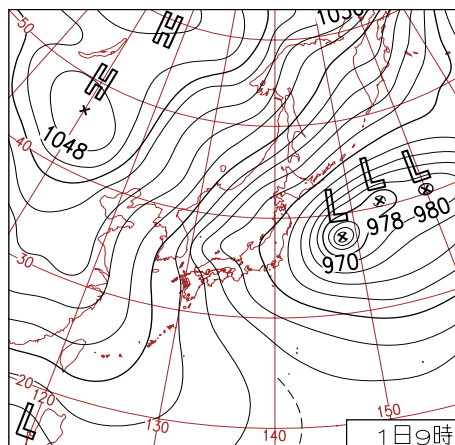


日々の天気図

No. 108

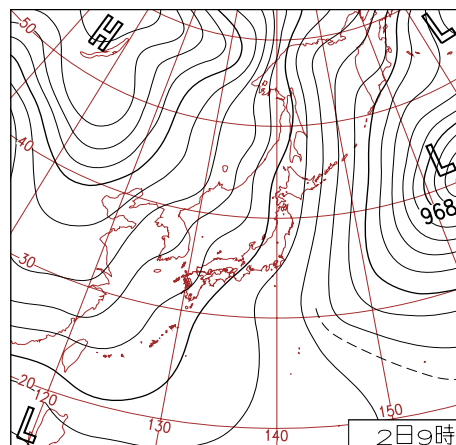
2011年 1月

- ・西～北日本の各地で1月の月最深積雪最大値の記録を更新。
- ・北・西日本太平洋側では1月として1946年以降で第1位の少雨、東日本太平洋側では第2位の少雨。
- ・19日、網走で今冬初の流水を観測。
- ・24日、東京都心では、33日ぶりに1mm以上の降水。



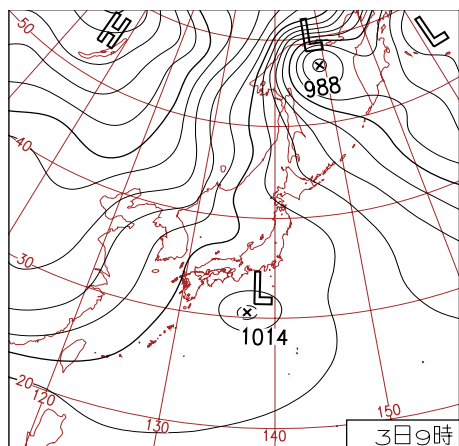
1日(土) 山陰で大雪続く

強い冬型が続き、西～北日本の日本海側を中心に大荒れ。鳥取県米子で日最深積雪が観測開始以来最高の89cmなど山陰で記録的な大雪。初日の出は関東など太平洋側の一部のみ。



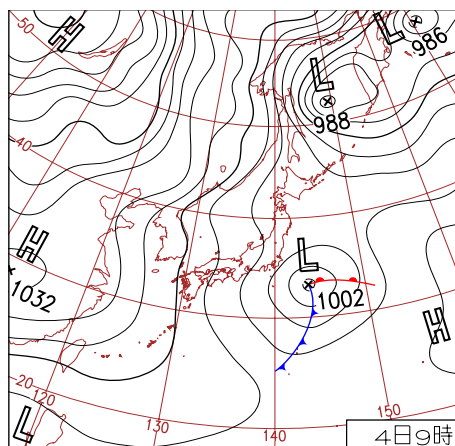
2日(日) 冬型しだいに緩む

冬型しだいに緩み、大雪となった山陰の平野部で雨に変わる。日本海側の雪も一段落。箱根駅伝は、東京から箱根まで青空のもとドラマが展開。日降雪量は長野県小谷で31cm。



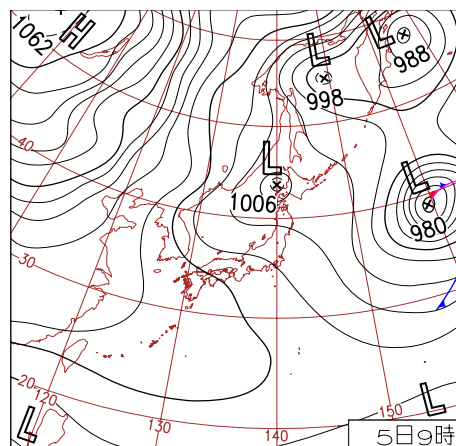
3日(月) 沖縄、西日本寒さは続く

気圧配置は弱い冬型だが、沖縄、西日本では最高気温が平年より低く寒さ続く。チリ中部沿岸でM7.2の地震があったが、日本への津波の影響なし。和歌山等で初霜。



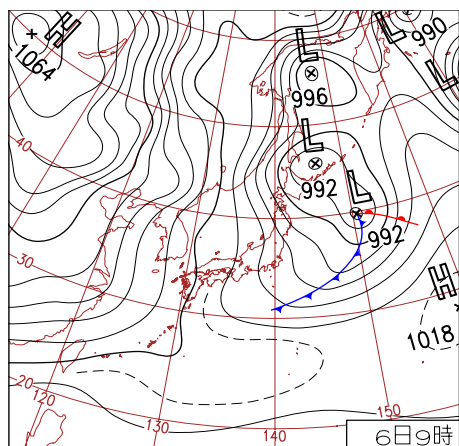
4日(火) 穏やかな仕事始め

弱い冬型の気圧配置。日本海側の各地は雨や雪。前日雲の広がった東海～関東の沿岸部も含め、西～東日本の太平洋側は乾燥した晴天。石垣島でウメ開花。



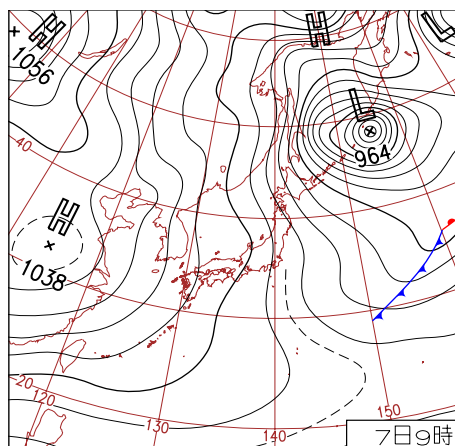
5日(水) 一時的に冬型緩む

冬型の気圧配置は一時的に緩んだが、日本海側を中心に雪や雨が続く。山形県西川町大井沢で日降雪量44cm。日最低気温は北海道枝幸町歌登で-26.4℃。銚子で初霜。



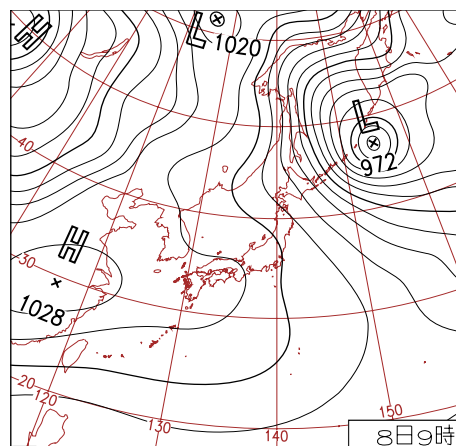
6日(木) 全国的に寒い寒の入り

三陸沖で低気圧が発生し、冬型の気圧配置に。新潟県妙高市関山で日降雪量67cmなど北陸を中心に大雪。低気圧が通過した北海道はふぶき。北海道初山別で最大風速19.1m/s。



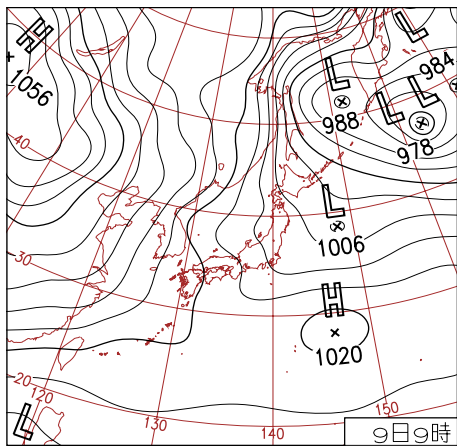
7日(金) 寒さ続く

千島で低気圧が更に発達、冬型が続き強い寒気が入る。日本海側で雪、太平洋側で概ね晴れるが、全国的に日中も気温は上がりず。東京は平年より27日遅れて初氷。



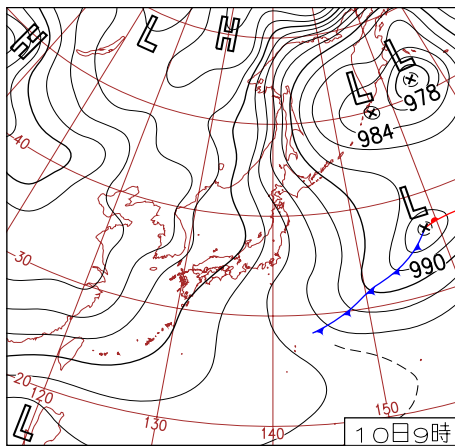
8日(土) 西日本各地で冬日

北陸～北日本の日本海側では雪や雨、先島諸島では雨や曇り。その他は高気圧に覆われ概ね晴れ。今朝の最低気温は放射冷却も加わり冷え込む。大阪市中央区-0.3℃と今冬初の冬日。



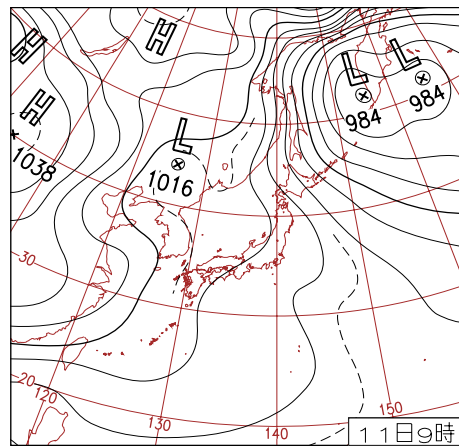
9日(日) 西から寒気押し寄せる

冬型の気圧配置。西日本も含め日本海側は雪や雨。最高気温は九州や北日本で平年より3~5℃低い。晴れて南風が入った関東甲信は3月並。夜には長野県北部で40cm台の降雪。



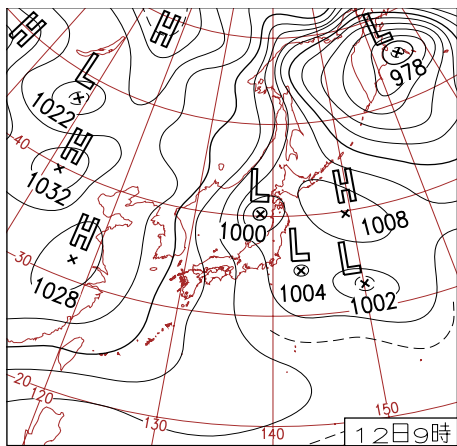
10日(月) 寒い成人の日

冬型の気圧配置が強まり、日本海側は雪や雨、太平洋側は乾燥した晴天が続く。強い寒気の影響で全国的に寒く、東北~北海道は真冬日。北海道中頓別で日最低気温-26.3℃。



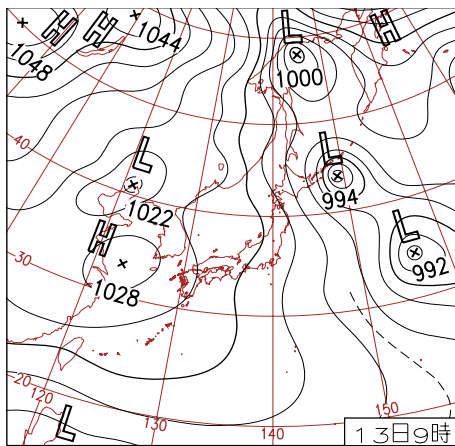
11日(火) 冬型弱まるが寒さ続く

冬型の気圧配置は弱まり、風は収まる。強い寒気残り、厳しい寒さが続く。全国の9割近くの観測点で冬日となり、北陸~北海道など約3割の観測点で真冬日に。



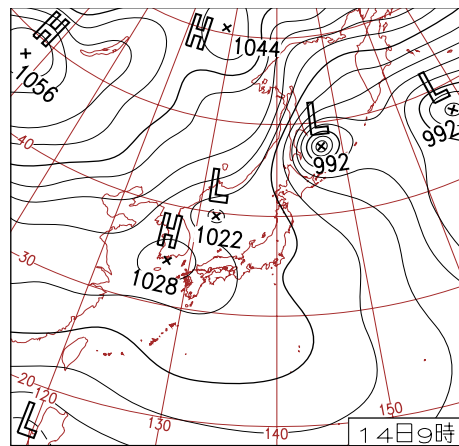
12日(水) 低気圧北日本通過

低気圧が発達しながら北日本を通過。その後冬型強まり日本海側は雪や雨、太平洋側は乾燥した晴天。朝方北海道各地で冷え込む。北海道遠軽町生田原で-25.6℃。



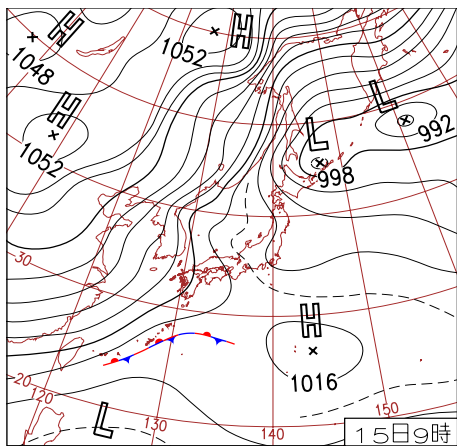
13日(木) 厳しい寒さ続く

西~北日本の日本海側では雪、その他は概ね晴れ。日中の最高気温は全国的に平年に比べ低く、沖縄と九州南部の一部を除いて10℃以下。北日本各地ではほとんど真冬日。



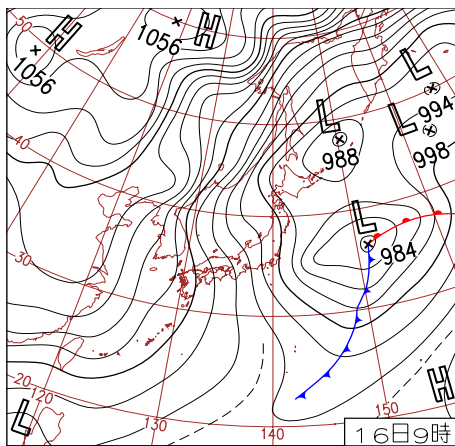
14日(金) 厳しい冷え込み

北陸~北日本日本海側で寒気により雪。先島諸島で雨、その他の地方は晴れ。沖縄県竹富町大原で日降水量141.5mm。北海道は陸別-28.8℃ほか42か所で-20℃以下の冷え込み。



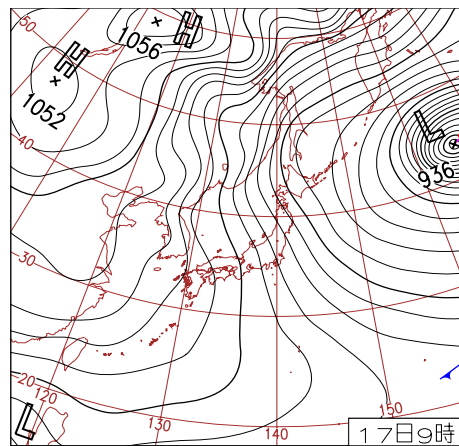
15日(土) 寒いセンター試験初日

強い寒気に伴って冬型が強まり、西~北日本の日本海側を中心に広範囲で風雪が強まる。九州~四国も強い寒気の影響で雪や雨。日中の気温は上がりませんが全国的に寒い一日。



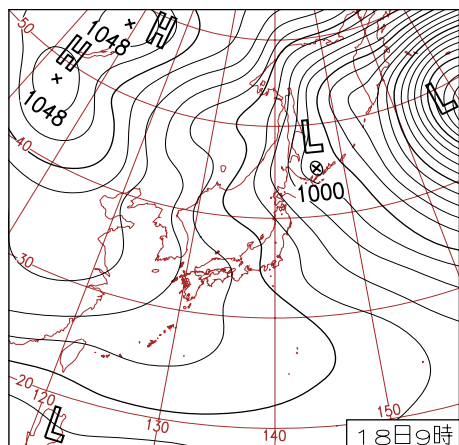
16日(日) 強い冬型 全国的に冬日

低気圧が東海上で発達。強い冬型の気圧配置となり、全国的に風が強く、日本海側で大雪。全国の9割以上で冬日。高知県本山で-8.9℃など全国6か所で観測開始以来最低の気温に。



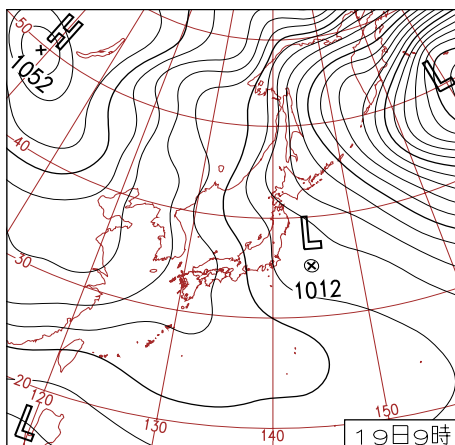
17日(月) 寒さと雪が続く

低気圧が日本のはるか東海上で猛烈に発達。強い冬型で日本海側は大雪が続く。関東以西の太平洋側では明け方冷え込む。石垣と宮古島でヒカンザクラ開花。



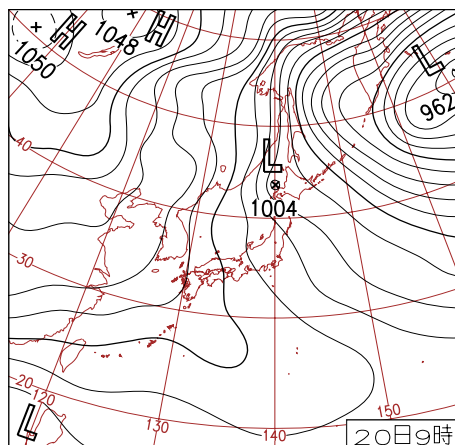
18日(火) 気象庁長官、交代

東～北日本では冬型が続き、北陸～北日本の日本海側では雪、その他は概ね晴れ。関東は年末から乾燥状態続く。アリューシャンの南の低気圧、発達して中心気圧932hPa。



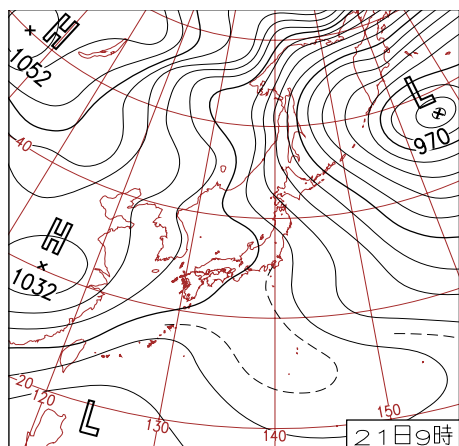
19日(水) 流水初日

引き続き冬型。山陰から北の日本海側は雪。山形県や新潟県で日降雪量30～50cm。その他の地域は晴れや曇り。沖縄は最高気温が3月並に。網走でこの冬初めて流水を観測。



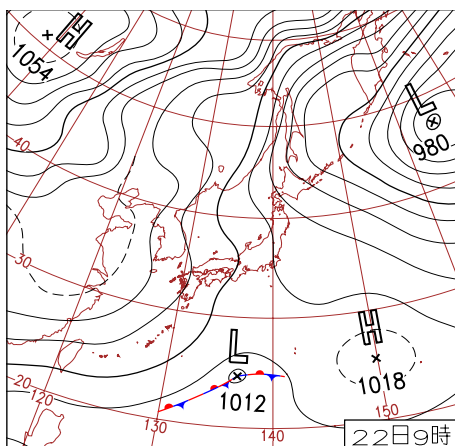
20日(木) 寒い大寒

冬型の気圧配置が続き、西～北日本の日本海側は雪、太平洋側は晴れて乾燥状態。沖縄以外は寒気の影響で日中も気温は上がらず。新潟県津南で日降雪量55cm。



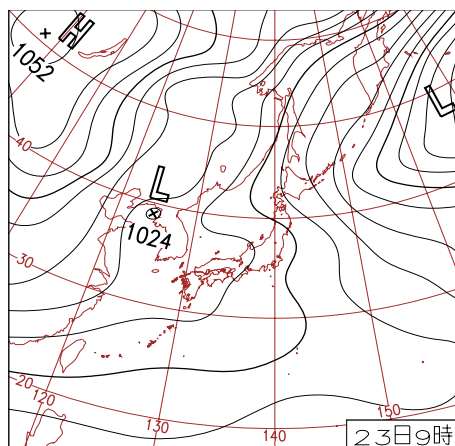
21日(金) 冬型 小休止

冬型の気圧配置が緩み、北海道では最低気温が3月上～下旬並。本州付近は、太平洋側を中心に晴れて、日本海側でも降雪弱まる。南西諸島は前線の影響で雨。



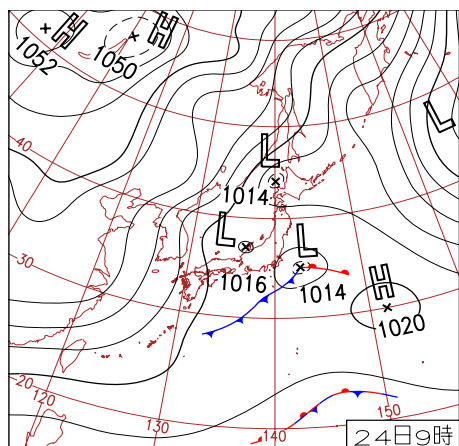
22日(土) 日本海側で雪

弱い冬型の気圧配置で、日本海の雪雲は、引き続き北海道から山陰地方の沿岸に雪を降らせ、秋田県では日降雪量20cm以上の降雪。太平洋側では、晴れの天気が続く。



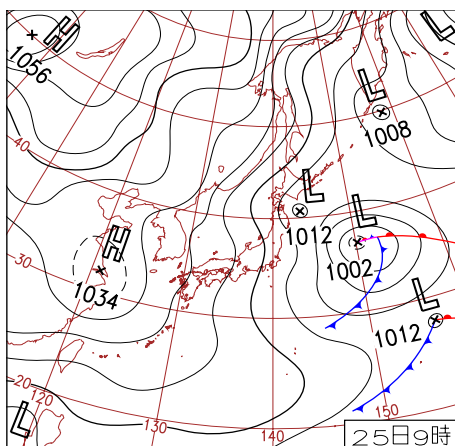
23日(日) 横浜でウメ開花

北陸～北日本の日本海側では雪や曇り。その他は概ね晴れたが、午後、西日本から雲が広がる。最高気温は沖縄の一部と北海道で3月並の暖かさ、その他はほぼ平年並。



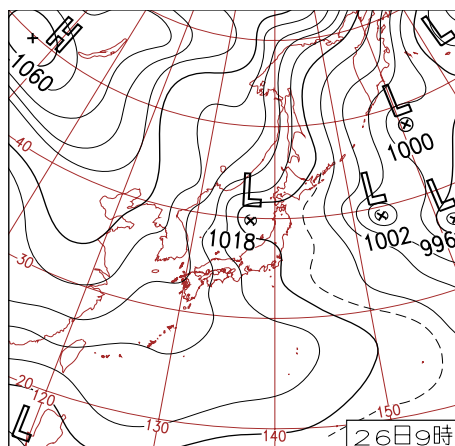
24日(月) カラカラ関東にお湿り

山陰～北陸は雪で、所々で雷。関東南部は朝晩雨やあられとなり、東京都心は33日ぶりに1mm以上の降水。寒気の影響で雲が広がった九州は、日中も気温が3～5℃と冷え込む。



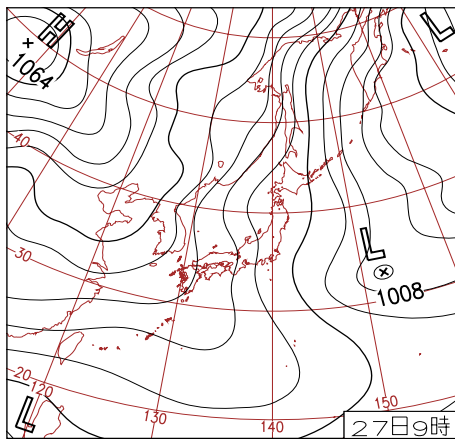
25日(火) 再び冬型

冬型の気圧配置となり山陰～東北の日本海側と北海道で雪。太平洋側は乾燥した晴天が朝から広がる。東海以西は最高・最低気温ともに平年より低く、寒い一日。



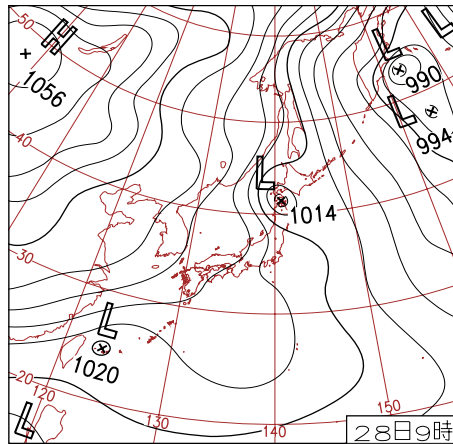
26日(水) 北陸で雪強まる

日本海に低気圧が発生し東進。日本海側では雪が強まり、雷も。福井県大野で日降雪量49cm。夕方、関東の一部で降水。横浜初雪。宇都宮、前橋でウメ開花。



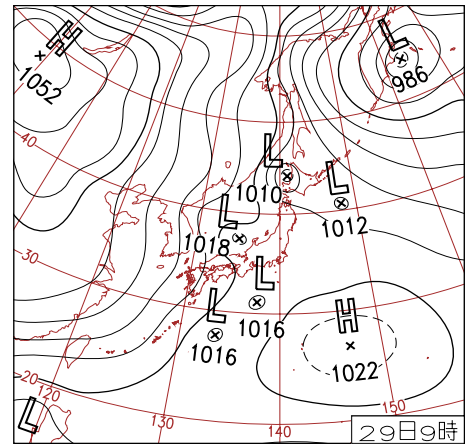
27日(木) 冬型続く

山陰～北陸にかけて大雪が続き、鳥取県大山では積雪246cm。太平洋側は晴れて乾燥が続く。奈良でウメ、横浜でスイセン開花。新燃岳52年ぶりに爆発的噴火、降灰被害が深刻化。



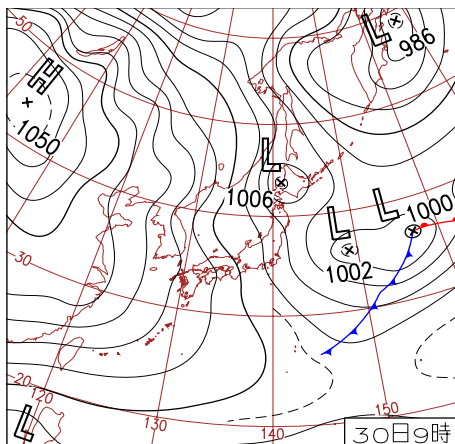
28日(金) 冬型緩む

冬型の気圧配置は緩むが、日本海側では雪が続き、太平洋側は乾燥続く。朝の冷え込み厳しく、北海道幌加内町朱鞠内で日最低気温-29.6℃。沖縄付近で低気圧発生し南西諸島で雨。



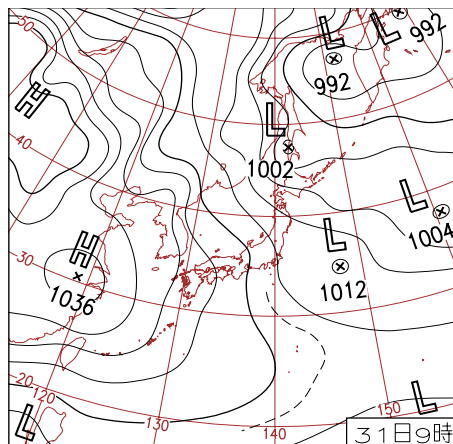
29日(土) 西から冬型強まる

北陸や北日本日本海側は日中も雪。福井県大野市九頭竜は積雪が2mを超える。西から冬型の気圧配置となり降雪の地域が拡大。九州も午後から雪。網走で流水接岸初日。



30日(日) 広範囲で冬日

強い寒気の影響で太平洋側でも雪が広がる。全国の約9割の観測点で朝の最低気温が氷点下。日中も気温は上がらず東北以北は真冬日。北海道中頓別で日最低気温-30.1℃。



31日(月) 日本海側 大雪

冬型の気圧配置が引き続き強く、北陸を中心に日本海側で大雪。福井県南越前町今庄で1980年の観測開始以来最高の積雪244cm。北陸のJR線終日全線運休。